



平成29年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年4月28日

上場会社名 BEENOS株式会社

上場取引所 東

コード番号 3328 URL <http://www.beenos.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼グループCEO (氏名) 直井 聖太

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼グループCFO (氏名) 中村 浩二

TEL 03-5739-3350

四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日

配当支払開始予定日

平成29年6月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	10,019	9.0	398	16.8	453	10.9	104	65.3
28年9月期第2四半期	9,195	11.5	479	35.9	508	30.9	300	50.7

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 422百万円 (101.3%) 28年9月期第2四半期 210百万円 (72.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	8.52	8.51
28年9月期第2四半期	24.64	24.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第2四半期	13,481	8,416	51.8	567.74
28年9月期	13,095	8,025	51.1	548.80

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 6,979百万円 28年9月期 6,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		0.00		13.00	13.00
29年9月期		5.00			
29年9月期(予想)				13.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 28年9月期及び29年9月期第2四半期の配当原資には、資本剰余金が含まれております。

詳細は、後述の「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。

2. 29年9月期第2四半期末配当金の内訳 記念配当 5円00銭

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	4.0	1,400	16.6	1,400	15.6	750	20.3	61.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期2Q	12,332,600 株	28年9月期	12,266,600 株
期末自己株式数	29年9月期2Q	39,418 株	28年9月期	66,218 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期2Q	12,243,073 株	28年9月期2Q	12,197,951 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

平成 28 年 9 月期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	期末	合計
1 株当たり配当金	13 円 00 銭	13 円 00 銭
配当金総額	158 百万円	158 百万円

(注) 純資産減少割合 0.023

平成 29 年 9 月期第 2 四半期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	第 2 四半期末	合計
1 株当たり配当金	5 円 00 銭	5 円 00 銭
配当金総額	61 百万円	61 百万円

(注) 純資産減少割合 0.009

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、ITとインターネットをベースに新しい市場を切り拓き、新しい産業を創造する「次世代の総合商社」を目指し、今期は、「国内の流通ネットワークの拡大とコンテンツ開拓」・「海外マーケットプレイスのネットワーク拡大と関係強化」・「国内外での投資育成推進によるグローバルコマースのネットワーク拡大」を戦略の主軸として事業の拡大を図っております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,019,417千円（前年同期比9.0%増）、営業利益は398,927千円（前年同期比16.8%減）、経常利益は453,008千円（前年同期比10.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は104,286千円（前年同期比65.3%減）となりました。

なお、各段階利益が前年同期に比べ減少しているのは、インキュベーション事業における営業投資有価証券の売却益の計上が当第2四半期連結累計期間になかったことが主な要因であり、Eコマース事業においては前年同期に比べ増収増益となっております。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

①Eコマース事業

クロスボーダー部門の「海外転送・代理購入事業（FROM JAPAN）」におきましては、代理購入事業「Buyee」でのECサイトの取扱拡大を目指し、送料割引キャンペーンなど積極的に投下をいたしました。さらにはオンライン決済の対応通貨の拡大等のユーザビリティ向上施策を実施したこと、また為替が円安傾向であったことも追い風となり流通総額、売上高、営業利益が好調に推移しました。

「グローバルショッピング事業（TO JAPAN）」におきましては、米国倉庫やカスタマーサポートの内製化に伴う新サービスやシステムを導入し、販売チャネルを増やすことによって流通総額が増加し、売上高、営業利益は堅調に推移しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,063,417千円（前年同期比7.7%増）、営業利益は314,799千円（前年同期比199.2%増）となりました。

バリューサイクル部門におきましては、買取面では、前期から継続して買取サイト「ブランディア」のマス広告を行ったほか、買取関連サイト群の改修によるユーザビリティの向上を図るとともに、ファッションECサイトとの提携による買取サービスを開始した結果、買取件数、買取金額ともに、順調に推移しました。販売面では、自社販路の「ブランディアオークション」のシステム改修によりユーザビリティを向上させるとともに、新販路への同時出品にも着手した結果、売上高、営業利益は好調に推移し、「ヤフオク！ベストストアアワード2016」では、年間ベストストア総合グランプリを8年連続で獲得しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,407,850千円（前年同期比10.9%増）、営業利益は301,022千円（前年同期比7.6%増）となりました。

リテールライセンス部門の「商品プロデュース・ライセンス事業」におきましては、人気アイドルグループやマスターライセンスを保有するアーティストの公式ECサイトのリニューアルによるEC強化を図るとともに、日本のアーティストブランドの認知を世界の流通市場に拡大すべくマスターライセンスブランド商品を海外の店舗で販売するトライアルを台湾にて実施した結果、売上高、営業利益が好調に推移しました。

また、今後の商品開発力、市場開拓力の強化を目的として、キャンドルなどのインテリア雑貨の企画・販売を行う株式会社SWATiを連結子会社化しました。

「ネットショッピング事業」におきましては、顧客ポートフォリオマネジメントを進化させることによりコンバージョン率の向上を図るとともに、ファッション・美容関連のオリジナル商品の開発・販売強化に注力しましたが、在庫処分に伴う粗利益率の低下等の要因により営業損失を計上いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,546,060千円（前年同期比14.5%増）、営業利益は65,614千円（前年同期比40.7%減）となりました。

Eコマース事業全体では、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,017,328千円（前年同期比11.1%増）、営業利益は681,436千円（前年同期比37.5%増）と過去最高益となりました。

②インキュベーション事業

「投資育成事業」におきましては、主要な新興国におけるオンライン総合マーケットプレイス企業とオンライン決済企業への出資に続いて、専門型オンラインマーケットプレイスへの投資を進めております。特に市場の大きな分野でもある自動車・不動産・ファッション・ヘルスケアに注目しております。

また、日本国内においても昨今の訪日外国人旅行客の増加に伴い民泊関連ビジネスの成長を有望視しており、民泊ホスト向けに一括管理ツールなどを提供する民泊関連事業に出資をいたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,322千円（前年同期比98.2%減）、営業損失は79,880千円（前年同期は営業利益141,721千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(i) 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は13,481,569千円となり、前連結会計年度末と比べ386,411千円の増加となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が11,906,094千円となり、前連結会計年度末と比べ119,052千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因としましては、営業投資有価証券の585,377千円の増加、減少要因としましては、受取手形及び売掛金176,856千円、商品134,908千円、繰延税金資産108,703千円、現金及び預金51,948千円の減少であります。

また、固定資産合計は、1,575,475千円となり、前連結会計年度末と比べ267,358千円の増加となりました。その主な要因は、投資有価証券99,411千円、建物及び構築物（純額）56,944千円、のれん50,672千円、無形固定資産その他に含まれるソフトウェア25,925千円の増加であります。

(ii) 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は5,065,106千円となり、前連結会計年度末と比べ4,443千円の減少となりました。

内訳といたしましては、流動負債合計が4,793,862千円となり、前連結会計年度末と比べ36,771千円の減少となりました。その主な要因は、増加要因としましては、預り金249,672千円、支払手形及び買掛金128,878千円、短期借入金35,175千円の増加、減少要因としましては、未払金372,961千円、未払法人税75,369千円の減少であります。

また、固定負債合計は、271,244千円となり、前連結会計年度末と比べ32,328千円の増加となりました。その主な要因は、長期借入金22,620千円、資産除却債務12,228千円の増加であります。

(iii) 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は8,416,462千円となり、前連結会計年度末と比べ390,854千円の増加となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定162,541千円、非支配株主持分115,701千円、利益剰余金106,907千円の増加であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は6,440,536千円となり、前連結会計年度末と比べ179,197千円の減少となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金の増加は、22,314千円となりました。その主な要因は、増加要因としましては、税金等調整前四半期純利益453,008千円、預り金の増加額249,562千円、たな卸資産の減少額138,062千円であり、減少要因としましては、営業投資有価証券の増加額418,286千円、未払金の減少額386,823千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金の減少は、110,079千円となりました。その主な要因は、増加要因としましては、投資事業組合からの分配金による収入109,607千円であり、減少要因としましては、投資有価証券の取得による支出104,724千円、有形固定資産の取得による支出57,719千円、無形固定資産の取得による支出34,245千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金の減少は、142,175千円となりました。その主な要因は、増加要因としましては、ストックオプションの行使による収入15,974千円、減少要因としましては、配当金の支払額155,700千円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の通期の連結業績予想につきましては、平成28年10月27日に発表致しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,307,317	6,255,368
受取手形及び売掛金	914,843	737,987
営業投資有価証券	1,605,068	2,190,445
商品	1,187,282	1,052,373
未収入金	892,956	972,570
繰延税金資産	195,344	86,641
その他	704,306	624,947
貸倒引当金	△20,076	△14,239
流動資産合計	11,787,041	11,906,094
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	327,914	384,859
減価償却累計額	△151,083	△166,246
建物及び構築物(純額)	176,831	218,612
工具、器具及び備品	117,057	124,630
減価償却累計額	△82,382	△91,281
工具、器具及び備品(純額)	34,674	33,349
有形固定資産合計	211,506	251,962
無形固定資産		
のれん	58,758	109,431
その他	121,222	146,848
無形固定資産合計	179,981	256,279
投資その他の資産		
投資有価証券	484,061	583,472
繰延税金資産	19,016	23,272
その他	415,300	460,488
貸倒引当金	△1,749	-
投資その他の資産合計	916,628	1,067,233
固定資産合計	1,308,116	1,575,475
資産合計	13,095,158	13,481,569

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	395,301	524,179
短期借入金	914,655	949,830
1年内返済予定の長期借入金	20,160	28,495
未払金	2,486,366	2,113,405
預り金	292,712	542,385
未払法人税等	245,083	169,714
繰延税金負債	79	16,543
その他	476,275	449,309
流動負債合計	4,830,634	4,793,862
固定負債		
長期借入金	74,842	97,462
資産除去債務	148,144	160,372
繰延税金負債	7,740	6,378
その他	8,188	7,031
固定負債合計	238,915	271,244
負債合計	5,069,549	5,065,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,725,977	2,775,840
資本剰余金	3,129,121	2,988,482
利益剰余金	955,054	1,061,961
自己株式	△94,498	△56,197
株主資本合計	6,715,654	6,770,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△42,932	23,869
為替換算調整勘定	22,834	185,376
その他の包括利益累計額合計	△20,097	209,246
新株予約権	14,235	5,611
非支配株主持分	1,315,815	1,431,517
純資産合計	8,025,608	8,416,462
負債純資産合計	13,095,158	13,481,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	9,195,671	10,019,417
売上原価	4,424,356	4,818,017
売上総利益	4,771,314	5,201,399
販売費及び一般管理費	4,292,074	4,802,472
営業利益	479,240	398,927
営業外収益		
受取利息	310	86
為替差益	5,509	—
持分法による投資利益	13,906	32,978
投資事業組合運用益	—	31,629
償却債権取立益	—	1,149
その他	18,111	5,224
営業外収益合計	37,837	71,069
営業外費用		
支払利息	3,097	5,699
為替差損	—	10,060
持分法による投資損失	—	367
投資事業組合運用損	5,664	—
その他	43	860
営業外費用合計	8,805	16,988
経常利益	508,273	453,008
税金等調整前四半期純利益	508,273	453,008
法人税、住民税及び事業税	142,650	152,065
法人税等調整額	27,123	107,430
法人税等合計	169,773	259,496
四半期純利益	338,499	193,511
非支配株主に帰属する四半期純利益	37,934	89,225
親会社株主に帰属する四半期純利益	300,564	104,286

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	338,499	193,511
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,101	66,907
為替換算調整勘定	△102,576	153,620
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,750	8,815
その他の包括利益合計	△128,428	229,343
四半期包括利益	210,070	422,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	172,136	333,629
非支配株主に係る四半期包括利益	37,934	89,225

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	508,273	453,008
減価償却費	31,715	35,555
のれん償却額	18,661	13,263
貸倒引当金の増減額(△は減少)	11,320	△5,961
株式報酬費用	—	6,861
受取利息及び受取配当金	△310	△86
支払利息	3,097	5,699
為替差損益(△は益)	870	34,826
持分法による投資損益(△は益)	△13,906	△32,611
投資事業組合運用損益(△は益)	5,664	△31,629
売上債権の増減額(△は増加)	122,456	106,963
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△192,907	△418,286
たな卸資産の増減額(△は増加)	37,332	138,062
仕入債務の増減額(△は減少)	△46,552	127,094
未払金の増減額(△は減少)	△185,433	△386,823
預り金の増減額(△は減少)	△24,815	249,562
未払消費税等の増減額(△は減少)	23,287	△24,522
その他	△106,011	△20,263
小計	192,741	250,713
利息及び配当金の受取額	257	76
利息の支払額	△3,108	△5,679
法人税等の還付額	29,517	10,156
法人税等の支払額	△215,274	△232,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,134	22,314
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△26,901	△57,719
無形固定資産の取得による支出	△13,028	△34,245
投資有価証券の取得による支出	△56,866	△104,724
敷金及び保証金の差入による支出	△14,806	△9,827
敷金及び保証金の回収による収入	8,030	—
投資事業組合からの分配金による収入	33,928	109,607
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	16,487
関係会社株式の取得による支出	△18,995	—
貸付けによる支出	—	△30,500
その他	△791	841
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89,431	△110,079

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	43,489	—
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△10,000	△10,080
リース債務の返済による支出	—	△1,109
ストックオプションの行使による収入	5,381	15,974
非支配株主からの払込みによる収入	—	8,740
配当金の支払額	△158,081	△155,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	△69,211	△142,175
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34,137	50,743
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△188,645	△179,197
現金及び現金同等物の期首残高	3,518,730	6,619,733
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,330,085	6,440,536

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	合計		
	クロス ボーダー 部門	バリュー サイクル 部門	リテール・ ライセンス 部門	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,916,795	4,874,633	2,224,333	9,015,762	179,909	9,195,671	—	9,195,671
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,916,795	4,874,633	2,224,333	9,015,762	179,909	9,195,671	—	9,195,671
セグメント利益	105,217	279,745	110,563	495,527	141,721	637,248	△158,008	479,240

(注) 1. セグメント利益の調整額△158,008千円には、セグメント間取引の消去△75,332千円、各報告セグメントに配分していない全社収益213,247千円及び全社費用△295,923千円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	合計		
	クロス ボーダー 部門	バリュー サイクル 部門	リテール・ ライセンス 部門	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,063,417	5,407,850	2,544,826	10,016,094	3,322	10,019,417	—	10,019,417
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	1,233	1,233	—	1,233	△1,233	—
計	2,063,417	5,407,850	2,546,060	10,017,328	3,322	10,020,650	△1,233	10,019,417
セグメント利益 又は損失(△)	314,799	301,022	65,614	681,436	△79,880	601,556	△202,628	398,927

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△202,628千円には、セグメント間取引の消去△52,665千円、各報告セグメントに配分していない全社収益190,871千円及び全社費用△340,834千円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。